

「第2期みやざき子ども・子育て応援プラン」令和5年度実績について

※計画値は令和元年度に「第2期みやざき子ども・子育て応援プラン」策定した時点での令和5年度計画値

幼児教育・保育等の提供体制に係る実績

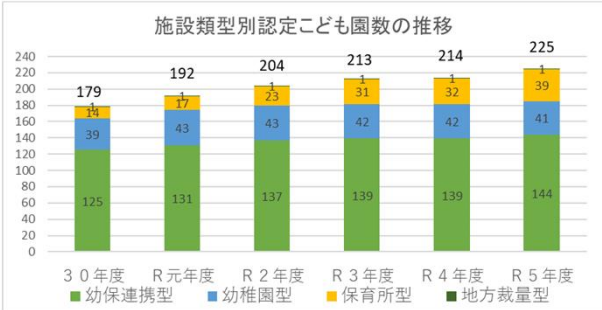
1 教育・保育に係る量の見込み及びその提供体制の確保方策 ※参考資料1参照

需要量	供給量		供給量と需要量の差 (供給量－需要量)	
	計画値(①)	実績値(②)	計画値(③)	実績値(②－①)
39,093	43,157	45,591	4,064 (供給計画より▲2,434)	6,498

供給量は、全体では計画需要量を上回ったものの、2号では計画需要量よりも供給量が下回っていることから、適切な需給調整が行われるよう市町村に働きかけていく。

2 子ども・子育て支援給付に係る教育・保育の一体的提供(認定こども園数) ※参考資料2参照

R5年度	計画値	実績値				
		幼保連携型	幼稚園型	保育所型	地方裁量型	
認定こども園数	225	225	144	41	39	1
(参考) R6. 4. 1現在	232	145	44	42	1	



認定こども園への移行支援のため、施設整備事業の活用や保育教諭確保のための有資格者確保、研修の充実といった取組を行った。今後も移行は進む見込みである。

3 教育・保育施設等に従事する者についての需給状況 ※参考資料3参照

需要推計の方法	現状	保育教諭		保育士		幼稚園教諭	
		【供給】 2,426	【供給】 3,957	【供給】 185	【供給】 913		
最低基準上、必ず配置しなければならない職員数に基づく需給(ア)	需要	1,771	+655	2,628	+1,329	185	+728
幼児教育・保育の質の向上を図る取組を一部実施する場合に配置が必要な職員数に基づく需給(イ)	需要	1,823	+603	2,685	+1,272	212	+701
幼児教育・保育の質の向上を図る取組を全て実施する場合に配置が必要な職員数に基づく需給(ウ)	需要	1,943	+483	2,850	+1,107	233	+680

※「需給」とは、供給量と需要量の差。

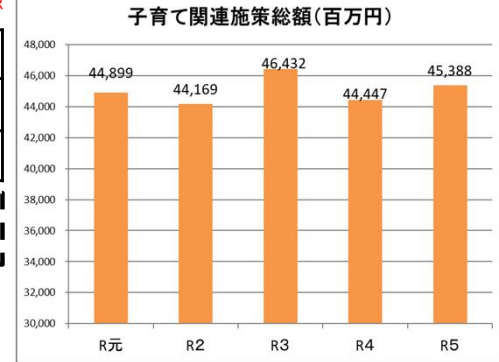
○ 各職種において、利用児童数に基づき算定した需要量を上回る供給を確保することができている。今後も従事者の確保に向けた取組を継続する。

子ども・子育てに関する各種施策の推進

1 主な施策について ※主な事業は参考資料4参照

	総事業数	事業費(千円)
R5年度(実績)	212	45,388,456
R6年度(当初)	213	51,624,948

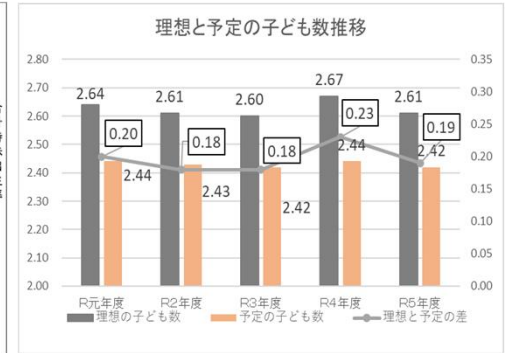
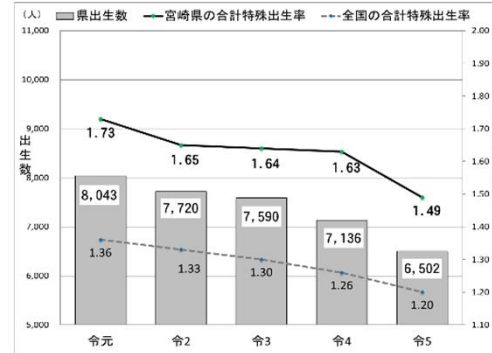
子育て関連施策の事業費(実績ベース)については、ここ数年450億円前後で推移している。



2 総合成果指標(全2指標) ※参考資料5参照

成果指標	短期目標(R5)	実績	最終目標(R6)
合計特殊出生率	1.83	1.49	1.84
平均理想子ども数と平均予定子ども数の差	0.18	0.19	0.18

合計特殊出生率は、1.49の全国2位と、全国上位は維持しているものの、前年より0.14ポイント減と大きく低下。短期目標1.83は未達成。
平均理想子ども数と平均予定子ども数の差についても0.19となり、未達成。



3 個別成果指標(全42指標) ※参考資料5参照

成果指標	達した指標	達していない指標	未確定等
目標の到達状況	12	20	10

○ 達した指標(主なもの)

- ・ 子育て応援サービス店の登録店舗数(目標1,460店舗/実績1,624店舗)
- ・ みやざき結婚サポートセンターにおける成婚数(目標146組/実績148組)

○ 達していない指標(主なもの)

- ・ こども家庭総合支援拠点の設置市町村数(目標26市町村/実績24市町村)
- ・ 里親等委託率(目標24.9%/実績11.5%)